

台風期における風水害の防止

～ 防災は日頃の備えと心がけ ～

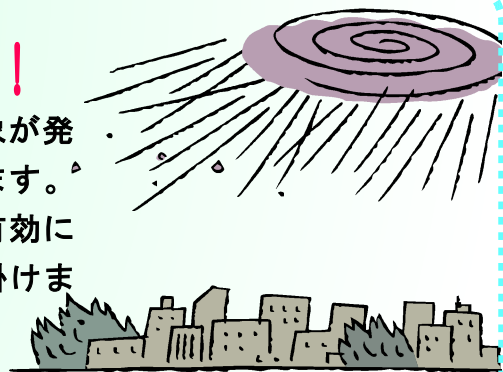
【 警備課 】

初夏から秋にかけては、台風や前線の影響で、大雨や洪水、暴風、高潮等による自然災害が発生しやすくなります。

日頃の備えと心がけで、大切な命を守りましょう。

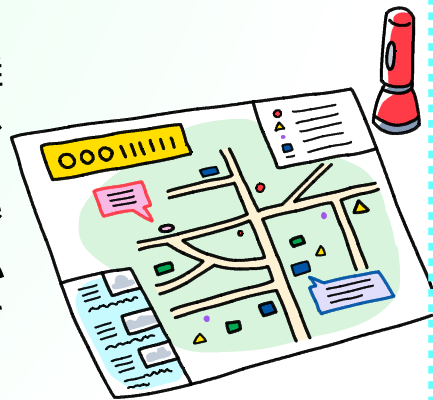
防災気象情報を活用し、早めの防災行動を！

- 気象警報が発令されるような激しい事象が発生すると、命に危険が及ぶおそれがあります。
- 気象庁が発表する「防災気象情報」を有効に活用し、早めの防災行動をとるように心掛けましょう。



ハザードマップで危険箇所をチェック！

- 台風や大雨の時には、海岸や増水した川、崖や沢など、危険な場所には近づかないようにしましょう。
- 避難する時も、安全なルートを通して移動できるよう、日頃から、自治体で作成しているハザードマップを活用して、危険箇所を確認しておきましょう。



雨や風が強くなる前に備えの確認を！

- 風で飛ばされそうなものを片付けたり、停電に備えてスマートフォンを充電しておくなどの事前の対策を心掛けましょう。
- 避難が必要になったときに備えて、食料や薬など非常用に持ち出すものの確認をしておきましょう。

